

令和6年度第1回八千代スポーツ推進審議会 会議録

1. 開催日時 令和6年7月19日（金）
14時00分開会 15時20分閉会
2. 場所 八千代市教育委員会庁舎2階 大会議室
3. 出席者 ◇八千代市スポーツ推進審議会委員（計7名）
若松 竜二 会長
中居 優 委員 森永 博幸 委員 豊永 直哉 委員
平澤一浩 委員 平川 京子 委員 田中 麻美子 委員
◇事務局（計5人）
教育長 小林 伸夫
教育次長 伊藤 栄治
文化・スポーツ課 課長 笠川 浩伸
主査 清宮 孝紀
主査補 石川 幸彦（進行）
4. 公開・非公開 公開
5. 傍聴人 0人（定員5人）
6. 会議要旨
 - （1）開会
 - （2）教育長挨拶
 - （3）委員及び事務局紹介
 - （4）議題（1）次期八千代市スポーツ推進計画策定に係る市民アンケートの結果について
（2）次期八千代市スポーツ推進計画策定について
 - （5）報告（1）パリオリンピックへの本市出身選手の出場に係るパブリックビューイングの実施について
（2）有料公園施設の改修工事について
 - （6）閉会

(開会)

司会

それでは定刻になりましたので始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

ただ今より、令和6年度第1回八千代市スポーツ推進審議会を開催いたします。

それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。

【教育長挨拶】

司会

まず、教育長、小林より皆様にご挨拶を申し上げます。

(教育長挨拶)

皆様、こんにちは。教育長の小林でございます。

本日は、お忙しい中、令和6年度第1回八千代市スポーツ推進審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様には、日頃より本市のスポーツ推進にご尽力いただき、改めて感謝を申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、7月26日から開催されるパリオリンピックに本市出身の柔道女子48kg級角田夏実選手、スポーツクライミング男子ボルダー&リードで安樂宙斗選手が出場されるほか、水球男子日本代表として秀明大学の教員である大川慶悟選手も東京オリンピックに引き続き、出場することとなりました。オリンピックでの各選手のご活躍を期待するとともに、このオリンピックを契機として、本市スポーツがより一層盛んになることを願っております。

本日は、本市のスポーツ推進の基本的な考え方等を示す「第2期八千代市スポーツ推進計画」が終期を迎えることに伴い、本市における今後のスポーツ推進の方向性を示す次期スポーツ推進計画の策定につきまして、皆様のご意見を頂戴する大切な会議となっております。

委員の皆様におかれましては、是非忌憚のないご意見をいただけますようお願いいたします。
て、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

【委員及び事務局紹介】

司会

続きまして、本日出席の委員の皆さまと、事務局の紹介をさせていただきます。

初めに、若松会長でございます。中居委員でございます。森永委員でございます。

豊永委員でございます。平川委員でございます。田中委員でございます。

なお、萩島副会長、大賀委員、木村委員におかれましては、所用のため、本日は欠席とのご連絡をいただいております。

また、本審議会委員としてご協力いただいております、須藤隆之委員につきましては、
本年3月31日をもって、ご本人の申し出により退会とさせていただきます。

なお、後任につきましては、八千代市小中学校体育連盟の会長であり、八千代市立村上北小学校 校長である、平澤一浩先生に本年5月15日付で委嘱させていただきましたことを、
ここでご報告させていただきます。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

教育長 小林でございます

教育次長 伊藤でございます。

文化・スポーツ課長 笠川でございます。

文化・スポーツ課 スポーツ推進班主査 清宮でございます。

最後に、わたくしは本日の進行をさせていただきます文化・スポーツ課石川でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、このあと議事に入らせていただきますが教育長におきましては、公務のため、
ここで失礼させていただきます。

それでは、議事に入ります前に、本日の資料の確認をさせていただきます。

本日の資料といたしまして

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 座席表
- ・ 次期八千代市スポーツ推進計画策定に係るアンケート集計
- ・ 次期八千代市スポーツ推進計画策定に係る市民アンケート集計結果分析
- ・ 第3期八千代市スポーツ推進計画策定スケジュール
- ・ 第3期八千代市スポーツ推進計画
- ・ パリ 2024 オリンピック・パブリックビューイング開催概要
- ・ 八千代総合運動公園 配置図

以上でございますが、配布漏れ等ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、議題に入りたいと思います。

議事進行につきましては、

「八千代市スポーツ推進審議会条例第5条」の規定により、会長が会議の議長を務めることになっております。

それでは若松会長、よろしくお願いします。

若松会長

それでは、議長を務めさせていただきます。

皆様の御協力をお願いいたします。

なお、本日の出席委員は6名であり、委員の半数に達しておりますので「八千代市スポーツ推進審議会条例第5条第2項」により、本日の会議は成立しております。

また本審議会は、「八千代市審議会等の公開に関する要領」の規定に基づき、会議を公開しまた、会議録作成のため、会議の音声を録音させていただきますので、予めご了承ください。

それでは、議題に入りたいと思います。

議題（１）「次期八千代市スポーツ推進計画策定に係る市民アンケートの結果」となります。

この議題につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

清宮主査

それでは、議題１「次期八千代市スポーツ推進計画策定に係る市民アンケートの実施結果につきまして、説明させていただきます。

八千代市のスポーツ推進に係る具体的な基本計画として令和３年３月に策定した「第２期八千代市スポーツ推進計画」が令和７年３月に期間満了を迎えることから、今後さらにスポーツ推進を図るために次期計画を策定することになりました。

調査結果につきましては、先日皆様のお手元に送付いたしましたので、概要のみのご説明としたいと思います。

令和６年２月に、全人口を７つのコミュニティ地域で分けた人口割合を使って、住民基本台帳から抽出した、１８歳以上の市民３、５００名にアンケートを送付いたしましたところ、１、１２７名の回答がありました。

回収率は３２．２％で、令和２年度実施した前回調査が３４．６％でしたので比較すると２．４ポイントの減少となりました。

それでは具体的な説明に移ります。まず資料の２頁上段をご覧ください。

「問５あなたはスポーツや運動をどの程度行っていますか。」では、「ほとんど（またはまったく）やらない人」が前回調査では半数を占めておりましたが、今回の調査では２９．３％となり、この数年で体を動かすことへの意識が市民に根付いてきていることが伺えます。

次いで週に１～２回程度行う、週に３～５回程度行う、ほぼ毎日行う、月に１～３回程度行うの順となっております。スポーツ庁がスポーツ基本計画のなかで、目標値として挙げている週１回以上のスポーツ実施率について、本市の今回の調査では、５６．２％となっており、スポーツ庁が昨年実施した世論調査（スポーツの実施状況等に関する世論調査）では、５２．０％、

で前回とは逆に八千代市の実施率が全国より高くなっており、本市の週1回以上のスポーツ実施率の向上が数値として表れております。

先程「問5 あなたはスポーツをどの程度行っていますか。」では、「ほとんど（またはまったく）やらない人」が前回の半数から 29.3%と減りりましたが、依然としてその理由が、3頁の「問1 2 スポーツをほとんど（または全く）やらない理由を教えてください。」では、「忙しくて時間がとれないから」が5割弱と最も多く、これは、前回調査と同様の結果となっております。

しかしながら、「スポーツをほとんど（またはまったく）やらない」と回答した人でも、3頁下段の問1 8をご覧くださいと「問1 4 今後スポーツを行いたいと思いますか。」では、「条件が合えば行いたい」と「今後行う」という回答を合わせると7割の方がスポーツに関心をもっていることから、忙しくて時間がとれない方にも気軽にできるスポーツ活動の体制づくりや環境づくりが今後の課題の一つとなります。

続いて4頁に戻りますが、「問6 あなたがスポーツや運動をする理由を教えてください。」では、健康の維持や体力づくりのためが最も多く、次いで運動不足解消のため、趣味や生きがいのため、気晴らしやストレス発散のためとなっており、前回調査とほぼ同様の結果であります。前回調査と比較し、健康維持や体力づくりの割合が、20%も増加しており、市民の健康志向がかなり高まっていると考えられます。

また、2頁下段問9をご覧くださいと「あなたが行っているスポーツ種目を教えてください。」では、ウォーキングが最も多く、次いで筋力トレーニング、ランニングとなっており、こちらも前回調査結果とほぼ同様の結果であるとともに、個人で気楽に自分の時間のある際に行えるスポーツが多い傾向となっており、ゴルフこそ 7.9%ありますが、それ以外の球技などは低い結果となっております。

以上で市民アンケート実施結果についての説明を終わらせていただきます。

何か質問や分かりにくいところはありませんでしょうか。

ただいま事務局から説明ありましたけども、ちなみにアンケートの項目についても、前回皆

様にご審議いただいたところですが、数字を比較しなければいけないという作業がありまして、基本的に質問項目は前回令和2年のアンケート時と同じような内容になっております。

森永委員

アンケート結果を見ると、忙しいからできないということですが、ではやられている方はどんな人ですかという話になると忙しいから、ランニングだとか簡単なスポーツが多いと思うんですね。そこに行けないっていうようなことになってると。

過去に我々が総合型地域スポーツクラブで今ユニバーサルオッケーっていうのを大々的にですね、大きな体育館全部使って、いろんな地域から人集めて、教えていた、体験させていただいたというのがありまして、だからそういう機会、いろんな皆さん知らない。

競技性の高いスポーツなどいろいろあると思うんですけど、やっぱりそれに興味を持ってもらい来てもらわないと、そもそも駄目なんですけれども、できるだけいろんなアピールの仕方をしないといけないと思います。

気楽にいつでも来れるっていう環境を、作っていく方がいい。

アンケート結果を見ると、やっぱりそんなふうに私は思いました。

中居委員

やちよ元気体操を毎週私やっているんですけど、やちよ元気体操やっている人は増えていきます。

質問9番ですね。設問には、ヨガ、体操、ストレッチなどあると思うんですけど、自分が設問なんか回答するとやっぱり、グランドゴルフってやってるっていうふうに書いちゃう。割合が低いのは、回答の仕方でこうゆう結果になってしまっているのだと思います。やちよ元気体操の割合が低いですが、そういう回答の仕方の人って結構いるじゃないかなあ。とにかくやちよ元気体操やっている人口は増えています。

若松委員長

その他いかがですか。

田中委員。

田中委員

はい。

問9で、ウォーキング筋力トレーニング、皆さん忙しいから、こうやってる方が多いみたいなこともあると思うんですけど、八千代市って新川とかすごいサイクリング道路もあって、中央図書館のところにも車停めとかもあるかと思うんで、私はちょっと、いい意味で八千代市緑もあってトレーニング施設とかも、無料で使えるところがあるので、八千代市ならではの何か結果なのかな。

あとは、うちの父が卓球やってるんですけど、やはりちょっと時間合わせられないっていうより、結構役員みたいなのをやらなきゃいけないくて、そこがちょっとやっぱ皆さん役員決めがものすごいもめて、2年3年っていうと、すごく大変っていうところは、かといって私も昔あったんで、やっていくからにはそういう運営もしてくれなきゃいけないっていうところで、ちょっと何か、難しい課題だと思いました。

平川委員

私も、どちらかというと、これ、1人でやるウォーキングとかをやっていますが、本当に自分の時間がやっぱり、何か皆さんと一緒にするとその時間に合わないとかっていうのは、本当だったらもうちょっと皆さん、中に入っていきたいって思うんですけど。

どうしたらいいのかなって自分でも思ってますね。

本当はそれ以外に、私たちはやっぱり、球技とかやってみたいと思うんですけど、小学校だと、授業でせっかくスポーツを経験しても、そのあと、ちょっと大学に行ったりだとか、社

会人になったときに終わってしまうんじゃないか。

だからそれだったら、学校の延長から進めていけるような、何か呼びかけとか仕組みづくりとかが何かあれば、もうちょっと普段なじみやすく続けていけるのかなあって思います。

若松委員長

学校の立場から平澤委員どうですか。

平澤委員

中学校には部活動ありますけども、活動自体は地域移行ということで今年から全中学校で進めていくわけですが、中学校まではある程度部活動に入っている子は若干おりますが、そのあとですね、中学校、高校、大学、進学があつたりしますが、そのときに、スポーツに関わる、生徒たちはちょっと、減ってる傾向にありますね。

コロナの影響もあつたりとかしてると思うんですが、中学校では、部活動の活動時間とかぐっと減っております。

高校に進学したときに、割合的にも、私たちの当時の年代だったころに比べると、だいぶスポーツの部活動で活動する割合は低くなっていると思われます。要は、それを考えていくと、スポーツに携わっていくっていう割合が継続性からいくとまたちょっとそこで一休みしたとしても、社会人になったときに、まだ何らかのスポーツに関わるっていうところでいくと、この結果が比較的個人のできるスポーツに、パーセンテージが上がってるのは、もう気軽にというか、自分の好きなもの、例えば、費用がかかる、団体種目になるとどっかに所属しなきゃ駄目だとかいう理由もあり、チーム数も今、市内減ってるんじゃないかと思います。

ということもあって、団体種目の方が少し、割合、小中学生に関しては小学校は、少年野球、各地区でバスケットボールができるのでストックは昔ほどでわないですけど、地域、中学生とやれる環境はあると思います。

若松委員長

豊永委員、障害者の立場から伺えないですか。

豊永委員

それではですね問 22 番、「障害者のスポーツ推進として、市は主にどのようなことに取り組んで欲しいですか」ということですが、私はもう少し注力していたんですが、その一つ上の「高齢者スポーツ」の設問がちょっと似ていたんですね、比較してみて、回答もやっぱり何となくこう傾向が似ているんですね。

現在の障害者の状況もですね、非常に高齢化状況と密接に関係がありまして、一昔前のですね、生まれたときに、もう助けられなかった命がそれなりにあったんですけども、医療の進歩で、助けられる、こういうこともありますね。

そういった傾向がありますので、そのあたりは、高齢者と一緒にして考えるということではなくて、非常に近い傾向ではないのかと考えます。

あと 1 人でできるスポーツだということで先ほどからお話あったんですけども、個人的には、特に 29 番、よく観戦するスポーツのところではですね、皆さんもやりづらいと言われているその団体競技の方が、難しいというのを、ちょっと数字見て感じたので、あとはなかなか先ほどちょっと出てますが、役員の関係ですとか、人間関係とかそういったことも理由の一つなのかなあと、少しそのアンケートからも読み取れないところの、やるスポーツと、実際やりたくてできないっていうのも、何かしらここに要因があるのかなと。

若松委員長

他にどうですか。

続きまして、議題 2、「次期スポーツ推進計画」について説明をよろしくお願いいたします。

清宮主査

そうしましたらこれも横刷りの方からですね、第3期八千代市スポーツ推進計画、資料番号としては右上の6番ですね。

またこちらの前のスクリーン画面の方でも映させていただきますので、どちらでも結構です。

そしたら1ページ目ですね。

まずですね、第2期八千代市スポーツ推進計画の中にはですね、計画の目標設定というのがございまして、そちらのまず進捗状況ですね。

それと合わせて3期計画の目標値のところをお話したいと思います。

先ほどもアンケートの結果のときにお話したんですけども、目標値1「週1回以上のスポーツの実施率」ですが、令和元年は36.6%のところ、一応目標値はですね、6年度が50%を目標にしていたんですけども、この中でも、1人で簡単にできる運動を自宅とかでする人が増加した結果ということで、現況値56.2%でしたので、こちらは目標達成ということになります。

ですので次期ですね目標設定につきましては、70%を令和10年度は立てさせていただこうと考えております。前回の令和元年度よりですね、令和2年度は19.6%増加しているというのもありますんで、希望的観測も含めて、同じように、20%程度ですね増やさせていただいて、70%という数字で目標立てさせていただきたいと考えております。

次のページになります。

2つ目の目標、なんですけど。スポーツ推進委員が開催する講座数を設定しております。

令和元年度はですね39回だったんですけども、目標値は43回なんですけども、37回ということで、こちらちょっと目標を達成することができませんでした。

こちらについてはですね目標を達成することができなかったっていうのもありますけども、そもそも次回の指標を設定するにあたって、この講座数でやるよりもですね、どちらかというとその講座に参加した人数ですか、そちらで設定した方が、より正確にスポーツ推進の程度が分かるかと思います。

こちらの令和元年から、途中ちょっとコロナによって減少したところもございますけども、

令和4年度より令和5年度が105人増えているので、令和6年度の数字がまだわかりませんが、年間50人ぐらい増えるっていうふうに予測して、令和10年度は1,300人という目標で設定したいと考えております。

続いて3つ目の最後の目標なんですけども、体育施設の利用者数っていうのがあります。

この体育施設というのはですね体育館ですとか、野球場テニスコートありますけども、それ以外にもですね、学校開放ということで、休日ですとか放課後、バスケットボールですとか、様々ないわゆる団体に貸してる、そういった学校開放の数字も合わせて、年間59万人と、数字が令和元年度あったんですけども、令和6年度目標値70万3千人で設定したんですけども、こちらもコロナの影響等もあったこともありまして、なかなかちょっと伸び悩んだところがあります。現状値は57万1,694人ですので、ちょっとこちらの目標の方は達成することができませんでしたが、令和10年度は目標値として、この後ご説明させていただきますけども、体育館の施設改修やテニスコート人工芝化、そういったことも考えて、年間25,000人増えるだろうと計算してですね70万人を目標にしたいと考えております。

続いてですね一応先ほどの市民アンケートの現状分析から浮かび上がる課題について説明したいと思います。忙しくて時間が取れない中にも気楽に行き、先ほど委員の方からもお話あったように気楽にできるスポーツ活動の体制づくりが一番の課題じゃないかっていうふうに考えております。

その次に(2)健康志向とスポーツを結びつけるための、連携、そして(3)として、それをもとに、それをどういったイベントなどで、先ほど委員の方からもあった通り、見るスポーツもあれば、してもらふスポーツもありますんで、気楽に立ち寄って、どういったふうにそのイベントをやっていくかが今後の一番の課題ではなかろうかと思います。

次のページですけども、第3期推進計画の策定に当たりまして、基本的にはですね、コロナの関係もありますして、目標達成等はできなかったところもありますけども、ただ一番大きな目標の1つの週1回以上のスポーツの実施率がですね、格段に伸びたっていうのもありますんで、そういった意味では、この2期スポーツ推進計画のですね、概ね骨格はこの

まま継承させていただきたいと考えています。

今まで2期にあったように、競技力の向上ですとか、スポーツ指導者の育成、関係団体との連携等ですね、こういったのは同じように、維持しつつですね、先ほどの課題ですか、その辺を重点的に、もう少しプラスアルファで、探っていくような形で第3期では70%の週1回のスポーツ実施率を目指していきたいと考えています。

第3期計画の基本的な骨格は第2期計画を踏襲しますが、6頁にあるとおり、1「気楽にスポーツする」、2「スポーツと健康志向」、3「体験型等々のイベント」を特に重視して計画を組み立てていこうと思います。

スポーツという概念一つとっても、人によってスポーツの捉え方はそれぞれかとは思いますが、次回ですね計画では、その辺はより広げるというかですね、あと軽い運動ですとか従来の今までなかったスポーツ、イメージを広くとらえ、今まで本当にスポーツに縁のなかった人も、気楽に、楽しんでいただけることを目指すスポーツの定義づけをしていければと考えております。

具体的な説明に入りますが、7頁に書かれている「気楽に」スポーツをするの説明ですが、従来のスポーツとは野球やサッカーなどの競技種目やレクリエーション活動のほか、健康のための散歩や体操など軽い運動が主でしたが、次期計画が対象とするスポーツを「健康のための散歩や軽い運動など」、徒歩や自転車による通勤や買い物などの日常生活における身体的活動」など、従来のスポーツのイメージを幅広くとらえ、これまでにスポーツに縁のなかった人にも気楽に親しんでいただくことも目指します。

2番目の健康体操ですけど、具体的には「やちよ元気体操」が出てますけども、この辺の庁内関係部署との連携等ですね。体育館などですねスポーツ施設名は、指定管理者といいまして、民間や公益財団法人に、管理をさせておりますので、その辺の事業者とのですね、イベント、隣接する公園などを利用して、継続的に気楽に、この健康志向、大勢の方々を取り込めるような教室などをですね、企画していきたいと考えております。

3番は、体験型スポーツイベントですが、総合グラウンドなどを中心に見るスポーツだけで

はなく、最近ですねわんぱく運動会などを行っておりますが大人から子供まで、幅広く、このような参加できるような、最近体験型のイベントをどんどん企画していければとは考えております。

アンケート 18 ですね次、スポーツ大会やイベントの市っているものを、選んでくださいっていうのがありましたけども、市民体育大会ですとか市の一大イベントにニューリバーロードレースはですね、前回、引き続き割と多くの方は知ってるんですけども、その下の市民体力テスト、こちらの文化スポーツ課で毎年やらせていただいているんですけども、市民レクリエーション大会この辺のスポーツ推進委員のやってるフロアカーリング大会、身体障害者スポーツ大会などですね、意外に知られてないところもありますんで、このへんも今後ですねどのように周知していくのかっていうのは大きな課題になってますんで、この辺もちょっと検討していきたいと思います。

先ほど委員さんからもお話ありましたけども、問 21 とですね 22、23 高齢者、障害者、子供たちのスポーツ推進、どのようなことに取組んで欲しいですかっていう同じような設問が続いてますけども、確かに同じようなこと、数字的に見る傾向というかありますんで、この辺も一応一番重要なところになってくると思うんですけども、関係部署ですとか、あるいは国ですとか、県、近隣市を参考にですねどういった形で、その辺を盛り上げて、そういったのを企画していくのか、重点的に検討していければと考えております。

以上で簡単ではございますが、計画の説明は終わらせていただきます。以上です。

若松委員長

ただいま、スポーツ推進計画策定について、説明ありました。

清宮主査

あとすいませんもう 1 点ありました資料のですね 7 なんですけどもこれは A4 の縦のものになりまして、今後の策定スケジュールも予定ではありますが、簡単に説明させていただきます。

今回のこの7月19日のがこの第1回のスポーツ推進審議会でありますので、この後ですね、9月、10月ぐらいにかけまして、先ほど申し上げた、この関係部署等の打ち合わせ等済ませまして、ある程度骨子を固めて、その後パブリックコメントを1ヶ月間、市民の方にその内容を見ていただいて、改めまして、また、来年1月ぐらいにですね、委員の皆様にお集まりいただきまして、第2回スポーツ推進審議会ですらそこで内容の方、確認させていただいて、ですね年度末にはですね、計画の方、策定していければと考えております。以上です。

若松委員長

スポーツ推進計画策定が説明されました。何かご質問ありますか。

伊藤次長

徳永委員、確認なんですが、

12ページの身体障害者スポーツ大会ですが、今この名称でやっていますか。

豊永委員

やってます。八千代市が付きますけども。ただ身体はつかずに、手足障害者スポーツ大会という名称です。

伊藤次長

今の計画を作るときには、この身体障害者スポーツ大会、名称で、やっておられたので、そのままアンケートを身体障害者スポーツ大会を使ったまま取ってるんですけど、時期、新しく作る計画としては、実際は外したほうがいいかなと思います。

豊永委員

そうですね。外したほうが良いと思います。

森永委員

基本的にはアンケート結果から、今度、推進するためには、何かっていうようなところが必要になるかと思うんですけど、ここに書いていただいている方体験型のイベントとか、気軽にできるということで、やられるんでしょうけども、次に来る方、やりました、そのあとどうやって続けてもらうかが重要なので、先ほどから申し上げましたが、何かやるときには委員になってくれたとか、これやってくれたとか、ちょっと今言われてるのは野球もサッカーも減ってるっていうのは、まず1つには、母集団を作らなきゃいけないから嫌ですっていうお母さんが多いですね、我々もやってますけども、送っておきますけどそのあとはちょっと、できませんみたいな。

そんなようなことがあったりですとか、母集団として何かやらなきゃいけないですかとかっていうご質問があったり。

それから、体験という意味で言うと今小学校で事業の一環として、何かこう、いろいろ別の、事業をやってもらってもいいということで、我々ユニバーサルオッケーの教室をやってくれということで、萱田小学校、村上小学校で昨年度、実施しました。

その結果ですね今年度ですね、その結果、普段、運動やらないことお子さんが喜んでやっていったっていう声を先生から聞いたっていう。

ところで、とにかく体験して、そのあと、続けさせるためにどうする、そういったお子さんが今、我々のクラブの方に一部、ほんの一部来られてやってらっしゃる。

その中には発達障害の方もいらっちゃって、やっていただいてまして、他のお子さんと同じように使えないところを見ながら、自由に最後は一緒にやろうとやってますけれど、最後のところ、さっき言ったような母集団とか、そんなことはしないでやりますよというようなところに持っていけるような、やり方、難しいですよ、非常に難しいですけども、やりました、やったらそれいいんですけど、そのあとの問題をどうする、継続していくか、そこが重要かなと思ってますんで、受け入れ先だとか、受け入れの仕方だとか、体制づくりというよう

なですけど、その辺の考え方が必要かなっていうこと。

それから、先ほどこちちょっとおっしゃった、サッカーや野球だっていうのが、やっぱり見るっていうのが多くなってますよ。当然、なぜかちょっと日本が強くなって、世界に通用するチームがこのオリンピックをサッカー、それからバスケットボール、バレーボールなんて期待されている球技がありますけれど、そういったところにこう見るのは簡単、それは1人でできると思うんで、そこに興味を持って、続けてやっていきたい将来そういう選手になりたいっていうお子さんがいらっしゃって、それを後押しする親御さんとの関係がさっき言ったのはまた母集団を形成しなきゃいけないから、そこの経営の仕方とかそういったところも、含めて、そういうクラブの調整だとか、やり方っていうのを何か考えていけば、もう少し、人口が増えていくと思います。

若松委員長

ありがとうございます。それでよろしいですか。

清宮主査

はい。分かりました。

若松委員長

他に何かありますか。

田中委員

週1回以上のスポーツ実施率ですが、令和10年の目標すごいなって思ったんだけど、これがもう、進んでいくと高齢化だとかあると思うので、どんな感じで増えていくのかと思ったのと、あと今、子供が小学生と保育園なんですけど、2人とも今、今日はもう暑いので園庭で遊んじゃ駄目だとか、プールの授業中心とか、やりたいのにできない状況で、ちょっとな

んかどうしてもサッカーや野球、普通、外でやるっていうのはそうなっていくと、できない部分、室内でのスポーツしかできない状況で、施設があるところはもう、団体が、施設の取り合いとかっていう、なかなかやりたいんだけどできないんで、ちょっと、増えていかないっていう声も私の周りでは聞くので、なんかその辺が、新しく室内施設をつくるとかそういうのはちょっと難しいと思うんですけど、そういう声もあるじゃないかなっていうところもなんか認識してもらったほうがと思います。

清宮主査

分かりました。

笠川課長

委員長いいですか。今ってあれ熱中症アラート、暑さ指数 31 が出たら、基本的にはもう運動は屋内も屋外の、中止ですか。

平澤委員

ひかえるような危険の範囲に入ってきますんで、嚴重警戒ですとか 1 つまた段階が上がってしまいますので基本的に学校で、運動の活動は、行わないという方向ですね。

室内においても、外が、アラートが上がっても室内はできる状況もあるので、その時には、室内は行います。

これまた義務制ではなくて、高校になると、難しい。

今年も中学校の方では、今年の大会の方を終えようとしてるんですけども、室内競技におきましては、空調施設ですとかかかっている中でできますけども、外の競技はどうしても、気温が高くなりますので、今日天気とかね、アラートが出てしまうと、残念ながら、外での活動ができなくなります。

笠川課長

やっぱり、昔と違って、今地球温暖化等で、夏のこの時期については特に、小さいお子さんなんか命に関わる部分でもあると思うんで、今までできてたものができなくなってくるっていう時代の背景といいますかだんだん厳しい状況になってるのかなあと。

若松委員長

他に何かありますか。

平澤委員

週1回のスポーツ実施率ということで、ここのスポーツの定義を教えていただければと思います。この目標の70%非常に高い数字ですけども、定義がどうかによって達成できるのではないのでしょうか。

清宮主査

スポーツ庁の方で、上げている定義でですね。「する」「みる」「ささえる」という様々な形での参画を通して、人々が感じる「楽しさ」や「喜び」に根源を持つ身体的活動と定義づけております。

今回の市のアンケートではスポーツや運動のことをウォーキングとか、散歩、筋力トレーニング等を含む、そういった運動のことをこの今回のアンケートではスポーツっていうふうにとらえております。

若松委員長

よろしいでしょうか。それでは、私の方がいいですか。

障害者スポーツのいろんな、スポーツの関わり方ですね、「する」スポーツも「みる」スポーツもそうなんですけども、関わるスポーツとして、ボランティアを集めて、どう関わらせ

ていくか、それもすごく大事なことだと思うんですね。

やっぱりボランティアの人がいるからこそ、先ほど申し上げましたように、いろんな関わりをしてかなきゃいけないっていうのがあるので、そういった方々への指導、集めて参加してその辺のことも、考えていかなきゃいけない課題かなと思います。

清宮主査

そうですね市の一大イベント、先ほど出てきたようにニューリバーロードレースもそうですが、多くのボランティアの方で、もし、ボランティアがいなければできないような大会っていうふうになってますんで、その辺は市としても、ずっと継続してやれるように、ボランティアの育成というか指導っていうんですかね、その辺は、きちっと考えたいと思います。

若松委員長

要するにボランティアのストック、要するにそういう人たちが、ニューリバーロードレースとか他の大会などにスポーツ協会の方もたくさん来てますけども、そうじゃなくて一般の方々について、こういう大会がありますがいかがでしょうかということで、そういう体制づくりについて難しいかもしれませんが、考えていく必要があると思います。

それともう1ついいですか。八千代市、外国籍の人がどのぐらいいるのかよくわかりませんけども、私の知る限りは、かなり多いような感じがします。

だから、外国籍の子どもたちも含めて大人もそうですけども、そういう人たちがスポーツに関わっていけるような、やっぱそういう体制も必要かなということを、要望ですね、考えていかないといけないと思います。

若松委員長

他に何かありますか。

中居委員

高齢者について、私も後期高齢者ですけども、ここに健康志向ってということで、参考に書いてあるんですけど、元気体操が一番取っ掛かりやすいスポーツなんですね。

お年寄りが、それ座ってやっています。だからやる気さえば、できるんですね。どんどん増やしたいなと思うんですけど、ただ問題は先ほども出ましたけど、将来、自分たち、いいので、結局、場所を変える手続きとかいろいろありますが、いなくなっちゃう。

もう1つあるんです。最初に参加するね、男性は少ないんです。8割が女性なんです。

老人会だと、口コミで趣味とかそういうので、非常に、スムーズに、そういうところはいいんです。

若松委員長

他にどうですか。

【5 報告】

若松委員長

それでは続きまして、報告事項の（１）「パリオリンピックへの本市出身選手の出場に係るパブリックビューイングの実施について」となります。

この議題につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

清宮主査

資料番号はですね8番となります。こちらのプリントA4の方を使ってご報告させていただきます。

本市出身のですね、先ほど教育長の方からもお話ありましたけども、柔道女子、角田夏実選手、スポーツライミングの安楽宙斗選手がですね、紙面裏にですねプロフィールも書いてありますので、後でご覧いただきます。

パブリックビューイングを、市民会館のですね、小ホールを第1会場としまして、3階の会

議室も押さえてあるんですけども、他に、第2会場としましてイオンモール八千代緑が丘のアゼリア広場でですね、開催できるよう今、進めているところです。

日程はですね柔道女子の方は7月27日、もう、すぐなんですけども、午後4時から会場、30分から開会セレモニーを実施いたします。1回戦は午後5時からですが、その後の当日の開催時間などにつきましては、試合の勝敗などにより変更となりますが、決勝まで進めば時間的には真夜中になってしまいますが、そういった流れで開催していきたいと考えております。

スポーツライミングの方は8月9日の金曜日ですね。こちら午後4時から同じく市民会館が会場となります。ただですね、こちらの安楽さんの方はですね、あくまでこれ決勝に出場した場合にのみに限りますので、9日より前に予選がありますので、その結果次第となります。

開催の内容としまして、八千代高等学校の方にですね和太鼓の「鼓組」さんにですね、太鼓のパフォーマンスをやっていただいたり、お笑い芸人の司会や本市出身の女優の岩崎裕美さんも駆けつけてくれます。あと第2会場の方ですね。先ほどの岩崎さんはこちらにも途中から掛け持ちとなりますが、両会場ではスティックバルーンといいましてちょっと今お持ちしていないんですけども、そういったものを用いて、皆さんで盛り上げていければと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。簡単ではございますけども、説明は以上となります。

若松委員長

よろしいでしょうか。それでは報告事項の次ですね、有料公園施設の改修工事についてよろしくお願いいたします。

清宮主査

はいこちらの審議会の場合でもですね、たびたび体育施設等ですね、改修工事ですとか、老朽

化については、ご報告、お話しさせていただいてるところですけども、資料ナンバー9ですね、八千代総合運動公園内の市民体育館と総合運動公園テニスコートですね、今年度よりですね、工事に入りますので、簡単にご説明させていただきます。

市民体育館の方はですね築40年を経過いたしまして、つり天井ですとか、雨漏りなどですね、施設の老朽化がございますので、長寿命化を図るうえで、建物、設備改修というふうに考えているんですけども、主な概要としては、アリーナ部分特定天井撤去ですとか、屋根のふき替え工事、あとは内外装、外壁、トイレの改修、エレベーターの更新等を進めてまいります。

6月末にですね、工事業者と契約したところですので、今後ですね11月には全館クローズのうえ、来年度末までにその工事改修を終わらせるよう、今進めてるところであります。

テニスコートですが、新川大橋脇のところですね、ハードコート3番から10番ですね、野球場の方にもテニスコートがあるんですけどこれは一番から2番は既にオムニコートですので、今回はこちらの3番から10番のハードコートをオムニ化・人工芝にします。

昭和57年、ハードコートってということで、8面つくられましたけども、経年劣化ですとか老朽化が顕著でしてですね、雨のときには滑りやすいとか、水が溜まって復旧まで時間がかかるといった問題を抱えておりましたんで、この既存のハードコートを人工芝化に改修する工事ですて、ベンチとか、一部フェンスの補修で審判台を新設します。

一応予定はですね9月下旬、10月上旬ぐらいにですね、契約の方しまして、今年度いっぱいまで工事を終わらせるよう予定しているところです。簡単でございますけども、以上になります。

若松委員長

はい。ありがとうございます。ただいま、施設の改修工事について説明ありました。

よろしいでしょうか。はい。それではですね、説明は全て終了しました。以上をもちまして、令和6年度第1回スポーツ推進審議会を閉会いたします。長時間にわたりましてご審議い

ただき、ありがとうございました。

それでは進行を事務局にお返しします。

【5 閉会】

司会

ありがとうございました。以上を持ちまして、令和6年度第1回八千代市スポーツ推進審議会を閉会いたします。長時間にわたりましてのご審議、ありがとうございました。

(終 了)